



第33回日本認知症学会学術集会 ランチョンセミナー 11

日時

2014年12月1日(月) 11:40~12:30

会場

第3会場 パシフィコ横浜 会議センター 5階「502」  
横浜市西区みなとみらい1-1-1

# 東洋医学からみた 認知症薬物療法を考える

アルツハイマー型認知症の  
新たなスクリーニング検査を踏まえて



座長

神戸学院大学 総合リハビリテーション学部 教授  
神戸大学 名誉教授

前田 潔 先生

演者

特定医療法人さっぽろ悠心の郷  
ときわ病院 院長

宮澤 仁朗 先生

今回のセミナーは整理券方式となります。各日の朝に、その日に開催されるランチョンセミナーの整理券を配布いたします。配布時間につきましては、抄録集に掲載されます「参加者へのご案内」をご確認ください。整理券の有効時間はセミナー開始5分後をもって無効となりますのでご注意ください。

共催：第33回日本認知症学会学術集会／クラシエ 薬品株式会社

講演概要

# 東洋医学からみた 認知症薬物療法を考える

## アルツハイマー型認知症の 新たなスクリーニング検査を踏まえて

〈演者〉

特定医療法人さっぽろ悠心の郷 ときわ病院

### 宮澤 仁朗

日本人が創薬したといわれ、

最もバランスが良く美しい漢方薬と評価される抑肝散加陳皮半夏が、

近年、アルツハイマー型認知症（AD）のBPSDに対して有効であり

副作用も寡少との知見が集積している。

演者の臨床データを報告するとともに、

本剤がADの根治療法、

予防につながる可能性について言及する。

更に、新たなADのスクリーニング検査として、

Me-CDT（Memory entailed-CDT,記憶付加型時計描画テスト）を紹介する。

